2012/02/20

TWS shibuya TWS hongo TWS aoyama creator in residence

TWSクリエーター・イン・レジデンス・オープン・スタジオ

トーキョー・ストーリー 2011

TWS CiR OPEN STUDIO "TOKYO STORY 2011"

2012/3/10 土 - 4/29 日 トーキョーワンダーサイト渋谷

2012/3/10 土 - 4/29 日 トーキョーワンダーサイト本郷

2012/3/10 土 - 4/28 土 トーキョーワンダーサイト青山：クリエーター・イン・レジデンス

参加クリエーター

TWS渋谷

米田知子 | Tomoko Yoneda

トラン・ミン・ドゥック | Tran Minh Duc

クゥワイ・サムナン | Khvay Samnang

グリッサゴーン・ティンタップタイ | Krissakorn Thinthupthai

岩井 優 | Masaru Iwai

小泉明郎 | Meiro Koizumi

田村友一郎 | Yuichiro Tamura

TWS本郷

荒木 悠 | Yu Araki

木戸龍介 | Ryusuke Kido

矢口克信 | Katsunobu Yaguchi

8gg（フ・ユ＆ジャ・ハイキン）| 8gg (Fuyu & Jia Haiqing)

ナディア・ソラーリ | Nadja Solari

マティアス・ヴェルムカ&ミーシャ・ラインカウフ | Matthias Wermke & Mischa Leinkauf

アンサンブル・モデルン&トーキョーワンダーサイトアカデミー Vol.5 | Ensemble Modern & TWS Academy Vol.5

TWS青山：クリエーター・イン・レジデンス

ルー・チーユン | Lu Chih-Yun

ナジャ・シェルハマー | Nadja Schöllhammer

※ また、以下の資料も同館にて展示

・2011年度滞在クリエーターのポートフォリオ

・世界のレジデンス施設

TOKYO STORY 2011

取材・掲載の際は、事前に広報担当までご連絡をお願いします 担当：浅野・千賀 TEL:03-5766-3732 / E-MAIL: press@tokyo-ws.org

企画概要

2011年度のトーキョーワンダーサイト（TWS）のクリエーター・イン・レジデンス・プログラム（CiR）における招聘、派遣クリエーターの活動紹介を行います。
21世紀を迎え、アートを制作する創造的な現場、そしてクリエイティブな人々が交流し、インスパイアし、新たな潮流が生まれる場がますます重要な場として認識されてきています。レジデンス・プログラムはアートを生み出す場として、今後ますます重要な場となってゆくでしょう。
TWSは東京における世界中のクリエーターの制作プラットフォームとして活動を行っています。毎年、プログラムに参加するクリエーターは約100人。東京や海外の派遣先を舞台に意欲的な作品づくりに取り組んでいます。 TWSは1年中を通して、日々リサーチや制作が進行する場であり、レジデント同士をはじめとする様々なクリエーターがインスパイアしあう交流の場となっています。
「TOKYO STORY」、それはクリエーターたちが紡ぎあげたいくつもの東京の物語、東京で生まれた物語、そして東京が紡ぎあげた物語。
元気な東京、元気な日本、そして世界中がクリエイティブな力で元気になることを願って、東京からの物語を送ります。

トーキョーワンダーサイト 館長 / 東京都参与
今村有策

開催概要

■会場・会期	トーキョーワンダーサイト渋谷　2012年3月10日（土）～2012年4月29日（日） トーキョーワンダーサイト本郷　2012年3月10日（土）～2012年4月29日（日） トーキョーワンダーサイト青山：クリエーター・イン・レジデンス　2012年3月10日（土）～2012年4月28日（土）
■開館時間	11:00～19:00（最終入場は30分前まで） ※閉館時間はやむを得ず変更される場合がございます。予めご了承ください。
■休館日	トーキョーワンダーサイト渋谷・本郷　月曜日（祝日の場合は翌火曜日） トーキョーワンダーサイト青山：クリエーター・イン・レジデンス　日曜日・月曜日
■入場料	無料
■レセプション	トーキョーワンダーサイト渋谷　2012年3月10日（土）18:00～20:00
■主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
■レジデンスプログラム提携機関	アジアリンク / モナッシュ大学、モナッシュ大学美術館（オーストラリア）、アンガール（スペイン）、イアーブ（スイス）、インターナショナル・アンサンブル・モデルン・アカデミー（ドイツ）、クンストラウム・クロイツベルク / ベタニエン（ドイツ）、ササ・アート・ギャラリー（カンボジア）、サン・アート（ベトナム）、トレジャーヒル・アーティスト・ヴィレッジ（台湾）、FONCA（メキシコ）、Fonds BKVB（オランダ）、ロンドン芸術大学（イギリス）
■協力	シュウゴアーツ（日本）

取材・掲載の際は、事前に広報担当までご連絡をお願いします　担当：浅野・千賀　TEL:03-5766-3732 / E-MAIL: press@tokyo-ws.org

関連イベント

アレクサンドラ・カルデナス（メキシコ／作曲家）新作初演 | FLOW / NAGARE 4

■出演　アレクサンドラ・カルデナス（エレクトロニクス）、吉村七重（箏）、鈴木俊哉（リコーダー）
■会期　2012年3月1日（木）19:00〜（18:30開場）
■会場　トーキョーワンダーサイト渋谷
■入場料　無料
■申込先　performingart11@tokyo-ws.org

Talk 1 | **3.11以降のアートの課題**

■ 概要　アジアのアーティストとキュレーターとともに「3.11以降のアートの課題」についてラウンドトークを行います。また、合わせて、タイとカンボジアのアーティストとともに東京とアジア各地で滞在制作を行った日本人アーティストからの制作活動報告、国内クリエーターとして約9ヵ月間TWS 青山にて滞在している米田知子によるアーティスト・トークを行います。
※日英通訳有
■ 日時　2012年3月11日（日）14:00〜
■ 会場　トーキョーワンダーサイト渋谷
■ 出演　ワシフ・コルトゥン（SALTプログラム＆リサーチ ディレクター、トルコ）
チャン・ヨンヘ重工業（韓国・アメリカ）、ディン・Q・リー（ベトナム）、ウィット・ピムカンチャナポン（タイ）
米田知子（イギリス・日本）、岩井 優（日本）、田村友一郎（日本）
■入場料　無料（予約不要）

Talk 2 | **アーティスト・トーク**

■ 概要　国内クリエーター制作交流プログラムに参加した各アーティストの作品を前に、作品解説やプログラムに参加してのエピソード等についてトークを行います。本プログラムに興味のある方も是非ご参加下さい。

■ 日時　2012年4月14日（土）16:00〜
■ 会場　トーキョーワンダーサイト本郷
■ 出演　荒木 悠（日本）、木戸龍介（日本）、矢口克信（日本）他
■入場料　無料（予約不要）

フォーラム | 日本、アジアのアーティスト・イン・レジデンスの未来に向けて

■ 概要　日本及びアジアを代表するレジデンス機関やアートセンターのディレクター、「アートの課題2011」に参加したアジアを代表するアーティストなどをゲストに招き、アジアと日本の課題を参照しながら、汎アジア的な視点でアーティスト・イン・レジデンスの可能性と今後のあり方を討議していきます。※日英通訳有

■ 日時　2012年3月10日（土）10:30〜17:00
■ 会場　東京ウィメンズプラザホール（〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67）
■入場料　無料
■申込先　invitation@tokyo-ws.org
※詳細はTWSウェブサイトにて発表します。

取材・掲載の際は、事前に広報担当までご連絡をお願いします　担当：浅野・千賀　TEL:03-5766-3732 / E-MAIL: press@tokyo-ws.org

出展クリエーターの参加プログラム

トーキョーワンダーサイト（TWS）のレジデンス・プログラムは、2006年のスタートから、本質的なレジデンスの在り方と、新たなレジデンスのかたちの両方を目指して活動を行ってきました。若手から中堅、さらには世界を舞台に活躍する一流のクリエーターたちが、東京の中でも文化の中心的な発信基地である青山に滞在して、創作活動を行っています。それぞれのプログラムは相互にかかわり合いながら、新たな対話やコラボレーションを生み出し、新しい実験的な創造の場となっています。

大きく分類すると10のプログラムがあり、これらは、世界各地のアートセンターや文化機関、信頼できるディレクターやクリエーターたちとパートナーシップを組みながら展開されています。東京に関するリサーチから成果発表まで、いろいろなかたちで成果が生まれています。クリエイティブの現場は、クリエーターの個人的な挑戦であると同時に、人と人との出会いによって一層の広がりを生み出します。TWSのプログラムではひとつの作品をつくり出すことだけではなく、TWSのレジデンスでのさまざまな試みのプロセスにおける出会いを大切にしています。

1　国内クリエーター制作交流プログラム

国内のクリエーターを対象とした長期滞在の支援プログラムです。毎年4人ほどの日本人クリエーターが滞在制作し、さまざまなジャンルや国籍のクリエーターとの出会いを通して、創造的な交流やコラボレーションを展開していきます。また、国際的なキュレーターやディレクターにポートフォリオや作品を見てもらう「メンタリング」や「スタジオ・ビジット」、協働スタジオプログラムへの参加など、海外レジデンスへのステップアップに繋がるプログラムとなっています。毎月開催されるOPEN STUDIOに参加、レジデンス終了時にはレジデンス成果発表展覧会にて最終発表を行います。

2　海外クリエーター招聘プログラム

海外の実力派中堅クリエーターを対象とした公募プログラムです。約3か月の滞在制作とレジデンス成果発表展覧会への参加、経済的なサポートを含めて支援します。本展参加クリエーターの8gg（フ・ユ & ジャ・ハイキン）やマティアス・ヴェルムカ & ミーシャ・ラインカウフも、このプログラムを通して、新しい日本や東京を発見し、それぞれのかたちで作品に取り込んでいます。また、日本を代表する現代音楽家とのコラボレーションなど、ここでしか実現し得ない、ジャンルを超えた協働制作にも積極的に取り組みました。

3　二国間交流事業プログラム

海外のレジデンス施設や芸術文化機関と連携して、クリエーターの招聘と派遣を双方向に行っています。交流の目的や滞在者を決めていくプロセスは、互いの文化環境を知り、新しい文化を考えていくことにつながっています。2011年の提携都市 / 機関は、台北 / アーティスト・イン・レジデンス・台北、バルセロナ / アンガール（Hangar）、バーゼル / イアーブ（iaab）、フィンランド /HIAP、ベルリン / クンストラウム・クロイツベルク・ベタニエン、メルボルン / モナッシュ大学、ロンドン / ロンドン芸術大学、また2012年には、ソウル / コヤン・アート・スタジオとのプログラムも予定しています。

4　芸術文化・国際機関推薦プログラム

大使館や芸術文化機関、国内外の公的機関や、美術館、アートセンター、大学など、芸術文化学術団体の推薦により、主に将来的な展覧会、コンサートなどのためのリサーチや学術研究を目的として滞在するレジデンス・プログラムです。

5　協働スタジオプログラム［TWS/MUSIC］「インターナショナル・アンサンブル・モデルン・アカデミー」

ドイツ、フランクフルトを拠点に、現代の音楽創造の最前線に立ち続けるアンサンブル・モデルンとTWSとの協働プロジェクト。 アジアの伝統的音楽を現代の視点から読み直す「東洋×西洋の新しい伝統へ向けて」のテーマのもと、アンサンブル・モデルン・メンバーによるレッスン、レクチャーのほか、美術家やパフォーミングアーティストも参加して、講師とともに舞台空間を作り上げる協働舞台制作も行います。今回は新たな試みとして作曲コンペを実施、選ばれた作品は、課題曲としてアカデミーで演奏しました。 単に教える / 教わる、ではなく創造のプロセスを体感することを通して、TWSでは、様々な方との対話を広げていきたいと考えています。

6　招待作家プログラム「アートの課題」

「アートの課題」は、2007年にシンポジウムを開催して以来、トーキョーワンダーサイトが継続的に開催しているプロジェクトです。世界各地からアーティストやアートセンターのディレクターを招き、多文化社会におけるアートや創造的活動について、「文化多様性」、「新しいアートセンターの活動」、「新たな公共性」といったテーマに、展覧会、レクチャー、ラウンドテーブルを通して意見を交わしてきました。今年度は、日本とアジアの若手アーティストと、アジアを代表するアーティストが、「僕らはいま一体どこに立っているんだろう？」をテーマに、リサーチや対話を通して協働しながら課題に取り組みました。

参加クリエーター | TWS 渋谷

米田知子 | Tomoko Yoneda　1

1965年生まれ。1991年ロイヤル・カレッジ・オブ・アート（ロンドン）卒業。主な個展・グループ展に「Japanese House」（シュウゴアーツ、2011年）、「Memories and Beyond」（関渡ビエンナーレ・台湾関渡美術館、2011年）、「六本木クロッシング2010展：芸術は可能か？」（森美術館、2010年）、「Rivers Become Oceans」（シュウゴアーツ、2009年）、「米田知子展・終わりは始まり」（原美術館、2008年）、「Think with the Senses - Feel with the Mind」（ヴェネツィア・ビエンナーレ、2007年）、「Not only possible, but also necessary」（イスタンブール・ビエンナーレ、2007年）などがある。
（http://www.tomokoyoneda.com/）

《菊》2011

トラン・ミン・ドゥック | Tran Minh Duc　6

1982年ベトナム・ホーチミン生まれ。カレッジ・オブ・カルチャー・アンド・アーツ・オブ・ホーチミンシティ卒業。人間関係やコミュニケーションへの興味から都市の動きをテーマに活動している。
主な展覧会に「The Dogma Prize in Self Portraiture」（ホーチミン市立美術館）、「Ho Chi Minh City Young Artists Grant Program Exhibition」（メルボルン・シティ・ライブラリー・ギャラリー、メルボルン、2010年）、グループ展「Syntax and Diction」（Sàn Art, ホーチミン, 2010年）などがある。メルボルン市より2010 Young Artist Grant Programme Ho Chi Minh City 受賞。

取材・掲載の際は、事前に広報担当までご連絡をお願いします　担当：浅野・千賀　TEL:03-5766-3732 / E-MAIL: press@tokyo-ws.org

《Normal day: cities, cities and untitled naps》2011
ハンモックデザイン制作、パフォーマンス、ビデオ(写真：小泉明郎)

クゥワイ・サムナン | Khvay Samnang 6

1982年カンボジア生まれ。プノンペンのカンボジア王立大学で絵画を学ぶ。2010年、JENESYS プログラム・協働スタジオプログラムにてトーキョーワンダーサイト青山：クリエーター・イン・レジデンスに滞在し、サムナン・タクシープロジェクトをスタート。その後さらにこれを展開、活動の幅を広げ、写真、インスタレーション、パフォーマンスといった様々なメディアで変動するアジアの社会へコミットする作品を展開している。また、カンボジアでササ・アートギャラリー、SA SA BASSAC を主宰。

《Untitled》2011

グリッサゴーン・ティンタップタイ | Krissakorn Thinthupthai 6

1979年タイ・スリン生まれ。幼少時にバンコクに移住して以来、寺での生活を続けている。Pohchang Academy of Arts卒業。商業広告や映画製作の現場を経た後、タイを代表する映画監督であるアピチャッポン・ウィーラセタクン設立の映画製作会社キック・ザ・マシーンにてアシスタントとしての経験を積む。近年は自身の作品もロッテルダム、ニューヨーク、ハンブルグをはじめとした多くの国際映画祭で上映されている。

《Dissonant Frequencies》2012

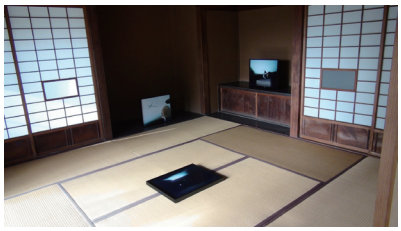
岩井 優 | Masaru Iwai 6

1975年京都府生まれ。2009年東京藝術大学美術研究科後期博士課程修了。博士（美術）。岩井はこれまで「クリーナーズ・ハイ」というテーマで、清掃／ごみを作品制作に持ち込んでいる。インスタレーション、映像、パフォーマンスなど多岐に渡る表現媒体を用いて、我々の暮らしに内在する清潔への欲望を、矛先をずらしながら示し、循環的な営みを問い直している。国内での活動の他、台北、ソウル、ボスニア、グルジアなど海外での展覧会およびレジデンスに多数参加。

《White Building Cleaning》2012

小泉明郎 | Meiro Koizumi 6

1976年群馬県生まれ。ロンドンのチェルシー・カレッジにて映像を学び、2005年から2年間ライクス・アカデミー（アムステルダム）にて制作活動を行う。人間の心理や感情の深層を追及した映像作品を制作する。主な個展にアネット・ゲリンク・ギャラリー（アムステルダム、2010年）、森美術館（東京、2009年）。主なグループ展にリバプール・ビエンナーレ（イギリス、2010年）、メディア・シティ・ソウル2010、「インビジブル・メモリー展」（原美術館、2011年）など。



《+》2012

田村友一郎 | Yuichiro Tamura 6

1977年富山県生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科修了。Google Street Viewのイメージだけで構成されたロードムービー《NIGHTLESS》は、平成22年度文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞受賞。恵比寿映像祭、オーバーハウゼン国際映画祭、佐藤雅彦ディレクション「これも自分と認めざるをえない」展（2010）に参加。2010年度TWS国内クリエーター制作交流プログラム参加。写真、映像の他、日常に予期せぬ出来事を挟みこむことで、フィクションを含むリアリティを映像化した、体験型・劇場型インスタレーションによる作品を制作。

《夜明け前／Predawn》2012

取材・掲載の際は、事前に広報担当までご連絡をお願いします　担当：浅野・千賀　TEL:03-5766-3732 / E-MAIL: press@tokyo-ws.org

参加クリエーター | TWS 本郷

荒木 悠 | Yu Araki 1

1985年山形県生まれ。2007年ワシントン大学美術学部彫刻専攻卒業。卒業制作ではE.マイブリッジに言及した、ネット上の馬の静止画像を繋いだアニメーション《971 Horses + 4 Zebras》を発表。同作品で奥村雄樹氏企画『万物理論』(ナポリ、ダブリン巡回)に参加、また第56回オーバーハウゼン国際短編映画祭にて上映される。2010年東京藝術大学大学院映像研究科修士課程修了。「自己とカメラの関係性」をテーマに制作を行う。在学中に発表した《Deep Search》では、作家自身の身体にカメラを介入させ、自らが飲み込んだ小さなフィギュアを取り出すまでの過程を撮影し作品化した。
(https://www.yuaraki.com)

《A Walnut in the Sun》2011

木戸龍介 | Ryusuke Kido 1

1984年生まれ。2011年に東京藝術大学大学院美術研究科を修了。近年の主な展覧会としては、個展TWS-Emerging 172「Form of Sin」(トーキョーワンダーサイト本郷、2011年)、グループ展で第59回東京藝術大学卒業・修了制作展(東京藝術大学美術館、2011年)、日韓石彫交流展「STONE ROAD」(上野の森美術館ギャラリー、2010年)、トーキョーワンダーウォール公募2010入選作品展(東京都現代美術館、2010年)、越後妻有トリエンナーレ「克雪ダイナモアートプロジェクト」(旧仙田小学校、2009年)など。

《Bubbles》2012

矢口克信 | Katsunobu Yaguchi 1

2002〜2008年　ロンドンにてパフォーマンスを主体に活動。日本に帰国後、茨城県水戸市にて喫茶店を営みながら制作活動をし、ローカル新聞の発行や、お祭りの運営を行っている。
主な展覧会に、「クリテリオム77 矢口克信」(水戸芸術館現代美術センター第九室、茨城、2009年)や大友良英「アンサンブルズ2010—共振」(水戸芸術館、茨城、2010年)。またパフォーマンスでは「iPROJECTmyCORKING -sonorous son-」(ナショナル・レビュー・オブ・ライブアート、トラムウェイ、グラスゴー、スコットランド、2007年)、「実験花子:実験花代との恋」(アサヒアートスクエア、東京、2009年)、「第一回大衆浪漫歌劇ー声低く語り、声惹くく歌たれ」(水戸芸術館ACM劇場、茨城、2009年)などがある。

《ラモンズ》2011

8gg (フ・ユ & ジャ・ハイキン) | 8gg (Fuyu & Jia Haiqing) 2

フ・ユ&ジャ・ハイキンの二人は、1971年に生まれ、1994年北京師範大学(中国)を卒業。北京在住のニュー・メディア・デュオ8ggとして活動している。作品は音楽、ビデオ、インスタレーション、ドラマ、ウェブアートなど多岐にわたる。2002年に音楽とイメージを結合する独自のリアルタイム・パフォーマンス・オーディオ・ビジュアル・システムの開発に成功し、世界各地でオーディオ・ビジュアル展を行う。インタラクティヴ・インスタレーションのほとんどが参加型で、特別にプログラムされたセンサーが鑑賞者の行動に応じて反応する。ARS Electronica(オーストリア)、EXCESS new media festival(オーストラリア)、VELOCITY Festival of Digital Culture(イギリス)、FILE(ブラジル)、上海ビエンナーレ、ベルン美術館(スイス)、ICA London(イギリス)、P.S.1 Contemporary Art Center(ニューヨーク)などで作品を発表。最近の活動に、インタラクティヴ・インスタレーション「Vip Room」(エディンバラ・アート・フェスティバル、エディンバラ、スコットランド、2011年)、VJパフォーマンス「China drifting」(Rote Fabrik、チューリッヒ、スイス、2011年)、インタラクティヴ・インスタレーション「A Trip in the Darkness」(成都ビエンナーレ、成都、中国、2011年)、VJパフォーマンス(マイクロソフトTEC ED conference、北京、中国、2011年)、「NeoFolk」(Cutlog art fair、東南アジア現代美術展、パリ、フランス、2011年)など。
(http://www.8gg.com/)

《V.I.P.room-A story and A song》2007

マティアス・ヴェルムカ&ミーシャ・ラインカウフ | Matthias Wermke & Mischa Leinkauf 2

マティアス・ヴェルムカ:1978年生まれ。2011年Kunsthochschule Berlin school of arts卒業。
ミーシャ・ラインカウフ:1977年生まれ。2011年Academy of Media Arts Cologne 卒業。

近年の主な活動に、グループ展「ゼロ年代のベルリン—わたしたちに許された特別な場所の現在(いま)」(東京都現代美術館、2011年)、「love for the real thing」(galeria miejska arsenal Poznan、ポーランド、2011年)、「do not think」(クンストラウム・クロ

イツベルク/ベタニアン、ベルリン、ドイツ、2011年)、「human frames」(KIT Düsseldorf、ドイツ、2011年)、「making- of」(artitude art association Berlin、ドイツ、2011年)などがある。
主な受賞歴に、NRW Förderpreis für junge Künstler (Young Artists from the State of North Rhine-Westphalia) (ドイツ、2010年)、 backUp賞(International Filmfestival "backUp"、ワイマール、ドイツ、2009年)、Special Mention賞(International Tabor Film Festival、クロアチア、2008年)、観客賞(The London Consortium "Betting On Shorts"、ロンドン、2008年)など。

《Drifter》2012

ナディア・ソラーリ | Nadja Solari 3

1972年生まれ。2005年バーゼル造形芸術大学(バーゼル、スイス)卒業。主な活動に「Cantonale Berne Jura 2011」(Centre Pasquart、ビール、スイス、2011年)、「Meubler la Solitude」(Kunsthaus Baselland、バーゼル、スイス、2011年)、「Going Places」(イアーブ・プロジェクトスペース "Basement"、スイス、2011年)、「Survival」(Kunstzeughaus、ラッパーズヴィール、スイス、2011年)、「lokal int」(ビール、スイス、2011年)などがある。

《IBAN》, 2009

参加クリエーター | TWS 青山

ルー・チーユン | Lu Chih-Yun 3

1984年生まれ。2011年、国立台北芸術大学大学院美術研究科(台北・台湾)卒業。主な活動に、「GEISAI#14」(東京ビッグサイト、東京、2010年)、「Post Adolescence」(National Taiwan Museum of Fine Art、台中、台湾、2010年)、「GEISAI TAIWAN#1」(Huashan Creative Park、台北、台湾、2009年)、「ART TAIPEI」(TWTC Exhibition Hall、台北、台湾、2009年)、「Dream in a contemporary Secret Garden」(Taipei Cultural Center、ニューヨーク、アメリカ、2011年)などがある。主な受賞歴に、2009年「GEISAI TAIWAN#1」にて奈良美智賞、2008年 New Perspective Art in Taiwan 3D Creation Seriesにて最優秀賞など。
(http://blog.roodo.com/luchihyun)

《slug》, 2008

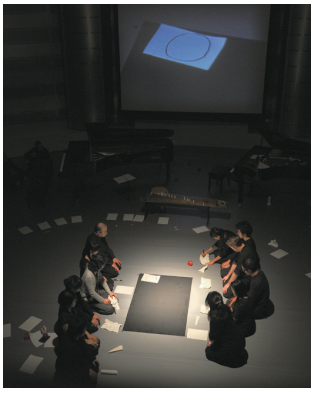
ナジャ・シェルハマー | Nadja Schöllhammer 3

1971年生まれ。2003年ベルリン芸術大学(ベルリン、ドイツ)卒業。ナジャ・シェルハマーの作品は、多層的な空間インスタレーションから小さなドローイング、切り紙ととても幅広い。素材へのアプローチと、ドローイングやインスタレーションの上で語られる物語は、ともに人間のコントロールが及ばない域への関心が基になっている。紙や弱い素材が持つ「はかなさ」や「よわさ」に興味があり、紙のオブジェクトや複雑に構成されたドローイングの断片を、燃やしたりカッティングすることによって、3次元の作品を創りだしている。主な個展・グループ展に「INSOMNIA」(Große Kunstschau Worpswed、ヴォルプスヴェーデ、ドイツ、2011年)、「THRILL」(Ancienne Douane、ストラスブール、フランス、2011年)、「TERRA INCOGNITA」(Alexandra Saheb Gallery、ベルリン、ドイツ、2010年)、COMPILATION IV「Echo」(Kunsthalle Düsseldorf、デュッセルドルフ、ドイツ、2009年)、レジデンス・プログラムによる制作「ZYKLOP」(Akademie Schloss Solitude、シュトゥットガルト、ドイツ、2009年)などがある。
(http://www.nadjaschoellhammer.de/)

《Zyklop》, 2009

ドキュメント展示 | TWS 本郷

アンサンブル・モデルン& トーキョーワンダーサイトアカデミー Vol.5 5

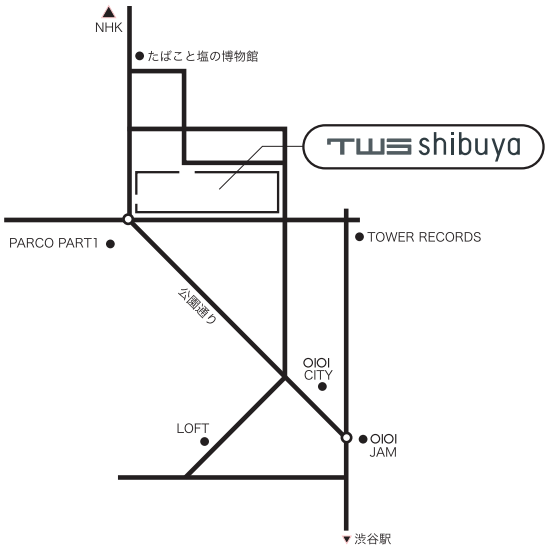


《連歌による「祈り」》2011
アンサンブル・モデルン&トーキョーワンダーサイトアカデミー Vol.5にて国内外のクリエーターを交えての「連歌」にもとづく協働舞台制作
(2011年12月17日、東京ウィメンズプラザホール)

会場案内

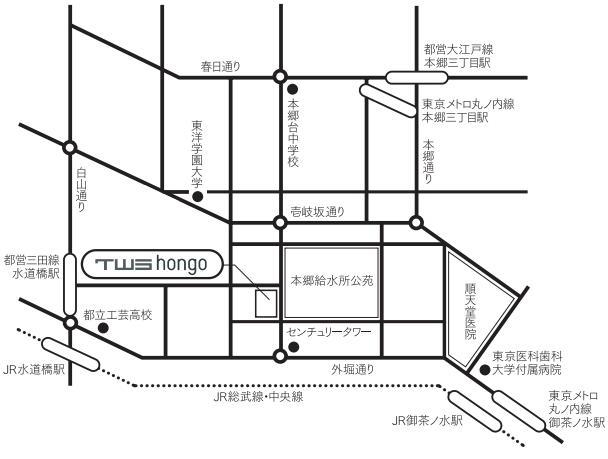
トーキョーワンダーサイト渋谷

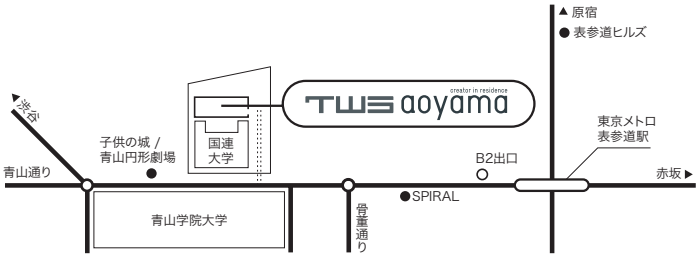
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8
TEL: 03-3463-0603
FAX: 03-3463-0605
■交通案内：渋谷駅（JR山手・埼京線・湘南新宿ライン/東急東横・田園都市線/京王井の頭線/東京メトロ銀座・半蔵門・副都心線）より徒歩8分
・駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。



トーキョーワンダーサイト本郷

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-16
TEL: 03-5689-5331
FAX: 03-5689-7501
■交通案内：御茶ノ水駅・水道橋駅（JR総武線）、水道橋駅（都営地下鉄三田線）、御茶ノ水駅・本郷三丁目駅（東京メトロ丸ノ内線）、本郷三丁目駅（都営地下鉄大江戸線）各駅より徒歩7分
・駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。



トーキョーワンダーサイト青山：クリエーター・イン・レジデンス

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前
5-53-67コスモス青山SOUTH棟3F
TEL: 03-5766-3732
FAX: 03-5766-3742
■交通案内：表参道駅B2出口（東京メトロ銀座・半蔵門・千代田線）より徒歩7分
渋谷駅（JR山手・埼京線・湘南新宿ライン/東急東横・田園都市線/京王井の頭線/東京メトロ銀座・半蔵門・副都心線）より徒歩8分
・お車でご来館の場合は、近隣の有料駐車場（同ビル地下3F）をご利用ください。